貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部			
科目	金額	科目	金額		
流 動 資 産	28, 891	流動負債	25, 729		
現金及び預金	811	買掛金	7, 492		
受取手形及び売掛金	17, 289	電子記録債務	159		
商品及び製品	303	リース債務	1, 203		
仕 掛 品	213	未 払 金	6, 923		
原材料及び貯蔵品	2, 383	未 払 費 用	1, 189		
前 払 費 用	633	未 払 法 人 税 等	344		
未 収 入 金	1, 332	預り 金	4, 259		
預け金	4, 994	賞 与 引 当 金	3, 031		
その他流動資産	938	その他流動負債	1, 124		
貸 倒 引 当 金	$\triangle 9$				
		固定負債	35, 081		
固定資産	58, 594	社	30,000		
有 形 固 定 資 産	33, 031	リース債務	3, 652		
建物物	6, 360	退職給付引当金	788		
構築物	91	資産除去債務	457		
機 械 及 び 装 置	0	その他固定負債	182		
車 両 運 搬 具	0				
工具器具及び備品	12, 897				
土 地	9, 189		60, 810		
リース資産	3, 507	純資産の部	00,010		
建設仮勘定	985	が良性シンロト			
無 形 固 定 資 産	12, 777	 株 主 資 本	26, 779		
のれん	75	資 本 金	11, 027		
ソフトウェア	3, 411	資本剰余金	1, 463		
リース資産	871	資本準備金	1, 453		
ソフトウェア仮勘定	8, 285	その他資本剰余金	9		
その他無形固定資産	132	利益剰余金	14, 288		
投資その他の資産	12, 785	利益準備金	1, 303		
投 資 有 価 証 券	367	その他利益剰余金	12, 985		
関係会社株式	8, 319	しい 西州 無水 玉	12, 300		
関係会社出資金	0	評価・換算差額等	△103		
長期前払費用	37		△103		
前 払 年 金 費 用	68	その他有価証券評価差額金	△103		
繰 延 税 金 資 産	2, 844				
その他投資等	1, 158				
貸倒引当金	△10				
		 純資産合計	26, 675		
資産合計	87, 486	負債及び純資産合計	87, 486		

損益計算書

自 2019年4月1日 至 2020年3月31日

(単位:百万円)

科 目		金	額
売 上 高			104, 331
売 上 原 価			80, 612
売 上 総 利	益		23, 719
販売費及び一般管理費			17, 854
営業利	益		5, 864
営業外収益			
受 取 利	息	0	
受 取 配 当	金	226	
受 取 賃 貸	料	197	
業 務 受 託	料	98	
その他の営業外巾	益	97	621
営 業 外 費 用			
支 払 利	息	11	
社 債 利	息	43	
賃 貸 費	用	179	
業務受託費	用	66	
その他の営業外費		42	343
経 常 利	益		6, 142
特 別 利 益			
固 定 資 産 売 却	益	0	
抱 合 せ 株 式 消 滅 差		167	
負ののれん発生	益	9	177
特 別 損 失			
固定資産除却	損	47	
リース解約	損	246	
関係会社出資金評価		349	643
税引前当期純利	益 (4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		5, 675
法人税、住民税及び事業		1,099	
法 人 税 等 調 整	額	768	1, 868
当期純利	益		3, 806

- 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 資産の評価基準及び評価方法
 - ①有価証券の評価基準及び評価方法 子会社及び関連会社株式 その他有価証券

時価のあるもの

時価のないもの

②たな卸資産の評価基準及び評価方法 商品・製品・仕掛品・原材料

貯蔵品

- (2)固定資産の減価償却の方法
 - ①有形固定資産

(リース資産を除く)

②無形固定資産

(リース資産を除く)

- ③リース資産
- (3) 引当金の計上基準
 - ①貸倒引当金
 - ②賞与引当金
 - ③退職給付引当金

移動平均法による原価法

決算日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移 動平均法により算定)

移動平均法による原価法

移動平均法による原価法

(貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切 下げの方法)

最終仕入原価法

定額法

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

5~50年

工具器具及び備品 2~15年

定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見 込利用可能期間 (5年) に基づく定額法を採用しております。 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採 用しております。

売上債権、貸付金等の貸倒による損失に備えるため、一般債 権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権 については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計 上しております。

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込相当額を計上して おります。

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債 務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。過去勤 務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一 定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。 また、数理計算上の差異は、各期の発生時における従業員の 平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法に より按分した額をそれぞれ発生の翌期から費用処理してお ります。

(4) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しており ます。

- (5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
 - ①消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

②連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

③連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通 算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目につ いては、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実 務対応報告第39号 2020年 3 月31日) 第 3 項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」 (企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日) 第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税

金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産に係る減価償却累計額 44,659百万円

(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権6,387百万円短期金銭債務2,262百万円長期金銭債務30,000百万円

3. 税効果会計に関する注記

(繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳)

繰延税金資産

減損損失	1,093百万円
賞与引当金	928百万円
退職給付引当金	220百万円
未確定債務	166百万円
固定資産売却損	152百万円
資産除去債務	140百万円
法定福利費	139百万円
出資金評価損	107百万円
その他	387百万円
繰延税金資産小計	3,334百万円
評価性引当額 _	△311百万円
繰延税金資産合計	3,023百万円

繰延税金負債

特別償却準備金△144百万円その他△35百万円繰延税金負債合計△179百万円繰延税金資産の純額2,844百万円

4. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社及び法人主要株主等

/// A L // O I							
種類	会 社 等 の 名 称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万 円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	みらかホール ディングス(株)	被所有 直接 1 0 0 %	役員の兼任4人	資金の借入/預入 利息の受支払 配当金の受支払 連結納税に伴う支払 予定額 コストシェアリング 費用 社債の発行 利息の支払	- 0 11 30,000 709 3,901 30,000 43	預け金 未払金 未払金 社債 未払費用	4, 994 - - 709 357 30, 000 18

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 当社と親会社との間の資金の借入及び預入については、キャッシュ・マネジメントシステムにより親会社が一元管理しており、日々資金の借入、預入が行われております。従って、取引金額としての把握が困難であることから、期末の残高のみを記載しております。
 - 2. コストシェアリング費用については、親会社より提示された料率を基礎として、毎期交渉の上、決定しております。
 - 3. 取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(2) 子会社及び関連会社等

種類	会	議決権等の所有 (被所有)割合		取引の内容	取引金額 (百万 円)	科目	期末残高 (百万円)
子会社	(同)クリニカ ルネットワー ク	直接100%	業務の委託	集荷業務委託費用	6, 149	未払金	886

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 集荷業務費用については、当社より提示した料率を基礎として、毎期交渉の上、決定しております。
 - 2. 取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。
- 8. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額

1株当たり当期純利益

658円79銭 94円01銭